



思いやりの心で、自ら学ぶ、たくましい宮地っ子の育成



宮地小学校

永い歴史を有し、1万人を超える有志を輩出

阿蘇市立宮地小学校

所在地 阿蘇市一の宮町宮地 2511 番地

創立 明治6年(143年)

児童数 386人

卒業生数 約10,260人

(明治21年4月から平成28年3月まで)

校長 奴留湯雅士 教頭 永田裕通

学校沿革

- 明治 6 明峻堂創立
- 明治 7 明峻堂を改め宮地学校となる
- 明治 19 尋常宮地小学校となる
- 明治 21 現在地に校舎を移転
- 明治 34 宮地町立宮地尋常小学校となる
- 大正 4 御大典記念簡易図書館開設
- 昭和 8 北校舎改築、220坪8教室
- 昭和 28 創立80周年記念式典開催
- 昭和 29 町村合併により一の宮町立宮地小学校となる
- 昭和 38 本館校舎落成
- 昭和 42 町営給食センター完成
- 昭和 43 学校林全焼、スギ1500本植林
- 昭和 48 創立100周年記念式典開催
- 昭和 53 体育館落成、旧講堂解体
- 昭和 56 県指定重要文化財「牛舞い」復活。クラブ活動に位置付け
- 昭和 61 本館校舎大規模改修工事完了
- 平成 9 牛舞いクラブ、映画・テレビなどに出演
- 平成 15 文部科学省指定学力向上フロンティアスクールの指定を受ける
- 平成 15 熊本県きらめっこ大賞で牛舞いクラブ受賞
- 平成 17 町村合併により阿蘇市立宮地小学校となる
- 平成 19 体育館屋根工事、屋外倉庫建築完了
- 平成 19 放課後子ども教室開始
- 平成 20 通級学級「まなびの学級」教室新築
- 平成 25 中通小学校と先行統合



1



4



2



5



3

1 校歌斉唱。平成25年、中通小と同校が先行統合し、阿蘇市では最多の児童数 2 県指定重要無形民俗文化財「阿蘇の牛舞」を披露 3 宮地っ子発表会で学習成果を発表する2年生の児童 4 PTAが創作劇でウサギ追いの行事や給食の思い出などをユニークさを交え表現 5 多くの来場者が体育館を埋め尽くした

宮地小学校閉校式典は2月28日、全校児童、保護者、地域住民、関係者など約800人が参加し行われました。

式典では、奴留湯雅士校長が「母校や故郷を誇りに思える宮地っ子を目指し、行事の一つ一つを感謝と夢をテーマに行った」とこの一年を回想。全校児童を代表して6年の山本晴さんが「友達と過ごした宮地小が大好き。先輩たちが築いてきた伝統を大切にしたい」とあいさつしました。

その後、学年ごとにそれぞれのテーマで学んだことを発表（宮地っ子発表会）。また、同校の思い出を振り返りながら、昔と今の違いをPTAが創作劇で発表し、会場に笑いと感動を届けました。

心豊かにたくましく自ら学び伸びゆく子どもの育成



尾ヶ石東部小学校

学校・家庭・地域の連携による教育活動を展開

また、全校児童と保護者がステージに上がり合唱を披露。親子が織りなす歌声に、会場は感動の渦に包まれました。

尾ヶ石東部小学校閉校式典は3月5日、全校児童、保護者、地域住民、関係者など約350人が参加し行われました。

式典では、上田晃生校長が「子どもたちが地域の方々とともに新たな歴史を創り、これまでの小学校の輝かしい伝統が、阿蘇西小学校に必ずや引き継がれていくことを確信しています」と式辞。閉校イベントでは、宇土市で活躍する太鼓芸能集団「紬衣」YUIが、同校に伝わる「狩尾大太鼓」を披露、迫力ある太鼓の音が体育館に響きました。



1 全校児童による合唱 2 校舎正面に建立された閉校記念碑。関係者などが参列し除幕式が行われた 3 太鼓芸能集団「紬衣」の皆さんが4曲を披露 4 同校出身で各合唱団の指揮・指導をされている草尾文隆氏が指揮を務めた 5 最後は児童と保護者による合唱で幕を閉じた



阿蘇市立尾ヶ石東部小学校

所在地 阿蘇市狩尾 675 番地

創立 明治 7 年(142 年)

児童数 47 人

卒業者数 2,943 人

(平成 27 年度末)

校長 上田晃生 教頭 諏訪孝英

学校沿革

- 明治 7 下村に狩尾学校創立
- 明治 8 甲賀無田に甲賀学校創立
- 明治 20 赤水簡易科狩尾支教場となる
- 明治 22 尾ヶ石東部尋常小学校に改称、河原口へ移転
- 明治 43 大鶴分教場設置
- 明治 44 尾ヶ石東部高等尋常小学校となる
- 昭和 16 尾ヶ石東部国民学校と改称
- 昭和 22 尾ヶ石村立尾ヶ石東部小学校となる
- 昭和 28 6.26 水害で床上浸水被害
- 昭和 29 町村合併により阿蘇町立尾ヶ石東部小学校となる
- 昭和 31 校舎改築、講堂設置
- 昭和 44 大鶴分校廃校
- 昭和 48 創立 100 周年記念事業 新校歌制定、吉良文庫設立
- 昭和 50 複式学級開始(53 年度まで)
- 昭和 55 体育館落成
- 昭和 60 現校舎落成
- 平成 元 新校旗作成、緑の少年団結成
- 平成 2 7.2 水害で運動場泥土被害
- 平成 3 台風 19 号直撃、体育用具庫全壊
- 平成 13 狩尾子ども虎舞発足
- 平成 17 町村合併により阿蘇市立尾ヶ石東部小学校となる
- 平成 24 九州北部豪雨災害で校内各所で被害
- 平成 27 複式学級(2・3 年と 4・5 年)



【一の宮小学校建設工事概要】 ●校舎 2階建て、延べ床面積：7,796.3㎡、構造：木造・RC
 ●体育館 延べ床面積：1,971㎡、構造：RC一部鉄骨造
 ●その他 プール(25m×7コース)、各種遊具、スクールバス車庫など

私たちの新たな学び舎

一の宮小学校開校！

―尾ヶ石東部小学校は阿蘇西小学校へ先行統合

平成25年4月に先行統合した
 中通小学校、そして今回閉校を
 迎えた古城、坂梨、宮地小学校の
 4校が統合し、新たに一の宮小
 学校がこの4月に開校します。

統合の要因として、いずれの
 小学校も少子化により学校規模
 が小規模化していたこと、宮地
 小学校では、校舎と体育館の老
 朽化が著しく耐震性が不足して
 いたことなどが挙げられます。
 これらの課題を早急に解決する
 ために「阿蘇市学校規模適正化
 基本計画」を策定。これに基づ
 き、統合し新たな学校が建設さ
 れたものです。

新校舎は、単なる統合小学校
 建設に留まるのではなく、小・中
 連携効果の向上や学校施設エリ
 アの防災性向上などを目指し、
 一の宮中学校の敷地内に建設
 しました。設計にあたっては一

の宮地区の方々を中心に事前に
 意見などを収集、児童や先生は
 もちろんのこと、学校に訪れる
 全ての方々にとって使い易く機
 能性を有したものとなっています。

一方、尾ヶ石東部小学校は旧
 阿蘇北中校区の統合を見据え、
 阿蘇西小学校と先行統合しま
 す。

なお、統合後の通学について、
 学校から遠距離になる児童は、
 スクールバスを利用します。バ
 スへの乗降時は大変ご迷惑を
 おかけしますが、子どもたちの
 安全確保にご協力をお願いしま
 す。

【学校統合に関する問い合わせ】
 市役所教育課学務係

☎ 22・3229